

はごろも小 ビオトープ だより

平成 30年10月24日 (水)
 はごろも小ビオトープ同好会
 比嘉 直子
 ~ 第 6 号 ~

第一回 いきもの調査のご報告

みなさんこんにちは。6月30日土曜日、はごろも小ビオトープにて第一回いきもの調査を、調査隊のみなさんと行いました。朝から雨の降る天候でしたが、大人17名・小学生12名・幼稚園児9名、計38名の調査隊員にご参加いただきました。

前半は、ビオトープのいきものを採集し、後半は採集したトンボの種類と数を調べて記録しました。あじくの雨だった為、普段より飛来しているトンボの種類が少なかったのですが、子供たちは自分で見つけた虫を楽しく捕まえたり、虫博士の名嘉タケルさんに虫の名前を聞いたりしていました。

採集後、5つのグループに分かれてトンボの種類を图鉴と実物を見比べながら、名前や性別をしらべました。子供たちは、タケルさんから調べた名前の正解をもらうと、とても嬉しそうな様子でした。ビオトープにこんなたくさん種類のトンボがいることに驚く子もいました。この先、希少種やいままでビオトープで見ることがなかった種類に出会えるようになったら楽しいですね！最後に採集したいきもの産をビオトープにもどし終了しました。隊員のみなさん、ご指導いただいたタケルさんと飯沼先生、ありがとうございました。



つかまえたビオトープの
いきものたちは
もとのほしよへ
もどしてあげましょう。

なぜトンボをしらべる？虫はかせにききました！

ビオトープにいる生き物の中で、なぜトンボについて調べているのかというと、トンボは

- ①比較的种类を判別するのがかんたんである。
- ②幼虫のヤゴが肉食で水中の食物連鎖の上位にいるので水中の生態系の状態を示す指標になる。
- ③成虫は陸域の捕食者である。
- ④種によって好む水環境が違っていて、種によってはかなり好みがあるさいので、環境指標動物としてみることで、ビオトープで成虫だけでなく幼虫（ヤゴ）も確認されれば繁殖場所としても利用していて多様な微環境を備えた良いビオトープと言える。
- ⑤そういった理由からデータが取りやすく、経年変化が追跡できる。という理由で、トンボの調査をしているんですよ！



コフキヘメイトトンボ



第一回【いきものちようさ】のけっか

2018/6/30

種名	オス	メス
ヒメトンボ	0	1
ハラボトンボ	1	0
ウスバキトンボ	2	0
コシゴトトンボ	1	0
リュウキュウベニイトトンボ	3	0
コフキヘメイトトンボ	17	5
アオモンイトトンボ	10	3
アジアイトトンボ	0	3

上の数字は、調査隊みんなで採集した個体数です。

この日は雨でしたが、それでもこんなにたくさんトンボを見ることができました。ビオトープにはこの他にもたくさんトンボの種類を観察することができますよ！

次回のビオトープいきもの調査

10月28日(日ようび) 9時00分 ~ 11時00分

はごろも小学校のビオトープにいる生きもの（とくにトンボ）をつかまえて、そのあと種類や数をしらべて記録します。

※動きやすく、汚れてもいい服装でお願いします。

※水筒・帽子・筆記用具・じょうぎを持ってきてください。こちらでもお茶の用意をいたします。

参加希望の方は、hagoromobiotopp20170131@gmail.com まで保護者氏名・児童氏名・学年を記載して送信ください。